

# 教育同窓会 会報

・教育学部  
・人間社会学域  
学校教育学類  
・大学院教育学研究科  
・養護教諭特別別科

発行：金沢大学 教育同窓会事務局

第4号 2014.3.22



## 昭和末～平成初期の 学部大改革から 大学院博士課程創設へ 元教育学部長 藤 則雄

金沢大学名誉教授・石川県文化財審議会議長  
石川県環境審議会温泉審議会議長・北陸地学教育協会会長

私の学校学習期は昭和12～32年で、明治初期に始まる日本の近代的学校教育制度が第二次世界大戦の敗戦に伴う六三三制で大変成されたが故に、基本的国家体制も大改革が強いられた時期でもあり、この思潮期の昭和32年に、私は金沢大学理学部に赴任した。

当時、金大は医科大学を中核に、旧制第四高等学校・高等工専・高等師範・薬専校、そして師範学校等を総括の新制総合大学が創設された。創設当初には、高等教育に相応しい教育内容と教官組織にすべく、当該大学は勿論のこと、文部省や石川県もその目的達成のために努めてきた。例えば、理学部地学教室は岩石・鉱物学講座と地質・古生物学講座との2講座に過ぎず、地震学・地球物理学・地球化学等の講座は無く、海洋学や天文学は専攻教官さえ皆無で、旧制帝大からの非常勤講師によって講義され、特に新制大学の特徴の一つでもあった教養部の講義さえも理学部の専属教官8名が交互に兼担しなければならなかった程であり、私が教育学部に転属し、学部長を拝命した昭和末頃になって、漸く教養部の各理科系研究室に3名の教官が充当されたので金大・熊本大・鹿児島大・岡山大等にも大学院新設の構想が芽生え、理学部・工学部・薬学部等と共に教育学部にも修士課程が創設され、次いで、新構想の連合博士課程の「自然科学研究科」が設立された。文部省の「博士課程担当教授資格審査」に合格の教育学部の教授も数名が参画できた。

然し、教育学部の大学院構成については、その教育内容の視点で他学部とは異なる特徴があり、その教育手法にも当然特質が認められた。抑、私の学部長時代には、汎世界的視点から観ても種々の職が高度な専門知識と方法で支援されるのは当然で、教員養成においても大学院と

いう高度な専門的教育を学修したうえで就職するのが当時の国際的思潮であったが故に、私は修士課程「教育学研究科」には、当時の社会的(国家的)要請を基本に、加えて日本の在るべき将来像を国際的にも見据え、教育基礎・特殊教育・国語・社会・理科・数学・英語・音楽・美術・家政・技術・保健体育等の12専攻を私の3期6年間に及ぶ学部長期に整備させ、各専攻は教科専門と教科教育の2分野で構成し、夫々の教育理念は①「教科の専門研究とその教育実践」及び②「教育活動の基礎的理論と応用」に据え、創設完備を平成8年頃に置いた。この頃迄には、金大は他の東京学大・上越教大・大阪学大等と共に12の専攻が創設された。

然し、本省では国立の教員養成大と学部の整備(昭61)・大学設置基準の大綱化(平3)・教養部の存続(平8)等の審議中で、六三三制発令以来の大変の検討中でもあり、その影響は本学部の将来計画にも及ぼして来ていた。それ等の中でも、殊に義務教育の小学校と中学校では少子化に伴う児童・生徒の減少化が始まり、それは小学校～高校教員の新採用数の削減にも及んだ。大学では当時学生の多応募期で、未だ応募数減少化の直前であった為に、この急増期の学生定員の臨時募集で対応し、この手当を教育学部の学生と教官の定員削減という学部始まって以来の危機への対応で全学的にも善処できた。

然し、学部にはこの頃、更に次のような難課題が山積しており、深夜に及ぶ教授会等の日々で、私の学部長時代の最大の苦難時であった。

- 1) 大学キャンパスの城内→郊外への移転
- 2) 少子化に伴う児童・生徒数減→教員数削減→教育学部学生の就職難→学生・教官定員削減→教育学部の小規模化(教育・研究の弱体化)
- 3) 教育学部の総合大学「金大」からの離別化
- 4) 附属学校キャンパスの広坂→郊外への移転
- 5) 大学院修士課程12専攻の創設・拡充・完備
- 6) 大学院連合博士課程の他大学との創設構想
- 7) 学部開学45年に亘る間の卒業生・修了生を総括した同窓会の創設と名簿の刊行(平2)

末尾になりましたが、本同窓会会員の皆様方、関係各位の方々の益々のご健勝と金沢大学校友会・教育同窓会のご発展を心から祈念いたします。

## シリーズ 大学を訪ねて①

### 金沢大学資料館

金沢大学資料館長 古畑 徹



皆さんは、学生時代の4年間に、あるいは卒業して金沢大学を訪れた際に、本資料館を見学されたことがおありでしょうか。そもそも「資料館って何?」「資料館ってどこにあるの?」という方もおられるのではないのでしょうか。

本資料館が大学博物館として角間北キャンパスに開館したのは、1989(平成元)年10月。角間移転の最初の年です。すでに開館してから25年が経っていますが、展示室が中央図書館2階閲覧室の奥にあること、開館時間が平日の10時~16時と短いことなどもあり、その存在はあまり知られていません。ただ、ここ数年は、積極的に展示活動を行って学内外に宣伝し、創基150年記念事業にも深く関与したため、その存在が次第に知られるようになってきました。入館者数も2012年度には5,532人となり、統計を取りだした2003年度の2,403人の倍以上になっています。



金沢大学資料館展示室(中央図書館2階)

そもそも資料館は、角間移転で貴重な学術資料が廃棄されてしまうのを防ぎ、それらを集めて研究・教育などに活かすために作られました。開学50年の記念事業後には、50年史編纂室を継承して大学文書館機能が加わり、文書類の閲覧も行っています。現在では目的を再定義し、本学とその前身校、およびそれらに関係した人々の、学術資料・記録・文書等を収集・整理・保存・展示・公開するとともに、関連分野の教育研究活動や大学の管理運営、自校教育、社会貢献、広報活動等に資することを目的に活動しています。

展示室では、常設展示以外に、春の新歓展、夏の企画展、秋の特別展、冬の企画展が行われ、特に特別展はテーマのもとに他館などからも資料を借り、パンフも作って大々的に行われる本館のメインイベントです。また、秋のホームカミングデー前後には、金沢城内休憩室の一角を借りて、写真展「よみがえる城内キャンパス」を実施しています。紀要(年1回)・資料館だより(年3回)の発行、資料・文書の閲覧サービス、他館への資料貸出なども行っています。

所蔵資料は、モノ資料45,000点以上、文書資料11,000点以上です。以前は2万点強とっていましたが、学内の特別予算をいただき収蔵品を再整理した結果、数多くの貴重資料が再発見され、この数字になりました。そのなかには、キノコムラージュ標本や医学教示図など、新聞等で話題になったものもあります。

このほかの著名な所蔵資料としては、旧制四高物理実験機器(石川県自然史資料館所蔵分と合わせると日本最大)、加賀藩校「明倫堂」「経武館」扁額などがあります。後者は石川県師範学校から教育学部を経て資料館に入ったものです。このほか、具足(江戸中期)、郷土教育資料、龍護寺旧蔵の仏像群(平安中期)などは、かつて教育学部が所蔵していたものです。また、石川師範学校写真資料295点をはじめとする主要所蔵資料の多くは「金沢大学ヴァーチャル・ミュージアム」でweb公開されていますが、これは新たな学術資料展示の試みとして全国から注目を集めています。



昭和30年代の教育学部研究室の風景

近年の活発な活動が認められ、2015年には全国大学博物館協議会が本資料館で開催されます。皆さんもぜひ、本資料館に足をお運びください。

# 平成25年度 教育同窓会代議員会開催

日時:2014.3.2(日) 13:30~15:00

会場:金沢大学サテライトプラザ

平成25年教育同窓会代議員会が、3月2日(日)金沢大学サテライトプラザで開催されました。

岩田会長の開会の挨拶のあと、協議に移り、澤野事務局長より事業報告がありました。主なものには、同窓会報を3月に発行し、約1万1千名の会員や在学生、教職員に送付していること、学位記伝達式で同窓会から卒業生へのお祝いとして図書カードや会報を贈呈し、卒業生からは卒業後の連絡先など同窓会名簿に記載する情報を提供してもらっていることなどの報告がありました。また、会長から金沢大学学友会の役員総会が11月2日に開催され、会長が深山彬氏から山出保氏に交替したことも報告されました。

次に会計決算報告が行われました(右欄決算報告参照)。昨年度、安定して同窓会事業を継続させるために会員に臨時会費の納入をお願いしたところ、330名から約81万円の会費が寄せられたことが報告され、野村監事より監査報告を受け、承認されました。

次に、規約の一部改正について協議しました。現行の規約では教職員が同窓会員に含まれていないので、法経文同窓会にならって「学校教育学類の教職員及びその職にあった者(以前の教育学部を含む)は特別会員」の内容を、第1条に挿入することが承認されました。今後は退官した教職員名簿の作成に取りかかります。

更に、3月で任期が終了する役員の改選を行いました。2期4年に渡って会長を務められた岩田会長の退任に伴い、後任に副会長の金浦修郎氏(S43年体育科卒)が選任されました。後任の副会長には事務局長の澤野等氏(S45年卒)、正見巖監事の退任に伴い後任には窪田長世氏(S38年卒)が選任されました。

また、事務局長には会計の本多芳樹氏(S53年

卒)、会計には新たに大杉繁氏(S50年卒)が委嘱されました。幹事も一新され、教育学部卒の大学職員や附属学校教員も加わり、大学との連携や円滑な事業の推進が期待されます。

最後に、池島康衛副会長より閉会の挨拶があり、25年度代議員会を終えました。

## 金沢大学教育同窓会 24年度会計決算報告 (H24.4~25.3)

### 【収入】

項目	金額(円)	備考
1 繰越金	787,810	
2 会費	2,202,070	24年度入学生70名 臨時同窓会費809,710円(330名)
3 利子	358	
合計	2,990,238	

### 【支出】

項目	金額(円)	備考
1 会議費	900	会計監査会
2 通信費	32,005	料金後納郵便料(住所変更届等)
3 事務用品費	2,639	封筒、印刷用紙等
4 分担金	30,000	創基150年祝賀会学友会分担金
5 印刷発送費	1,242,070	会報No3、封筒印刷、会報発送等
6 慶祝費	175,000	24年度卒業祝い図書カード(175名)
7 その他	0	
合計	1,482,614	

収入総額 2,990,238円 - 支出総額 1,482,614円 = 1,507,624円  
【差引残高】 1,507,624円は26年度事業に繰り越し

## 教育同窓会役員名簿(H26.4)

会長	金浦 修郎(S43)	
副会長	澤野 等(S45)	飯田 一郎(S38) (能登地区副会長は未定)
会計	東 実(S50)	大杉 繁(S50)
監事	野村 祐治(S34)	窪田 長世(S38)
支部長	阿戸 壯一郎(小松)	池野 忠(金沢)
	森田 敦志(金沢市)	(七尾支部未定)
	高山 文雄(輪島)	
事務局長	本多 芳樹(S53)	
幹事	坂根 功一(S55)	坂井 昇(H1)
	辻谷 友紀(H15修)	中島 康博(H19修)
服部	浩司(H22修)	

## 臨時同窓会費ご協力お礼

一昨年3月の会報送付の折りに臨時会費の納入をお願いしたところ、これまでに347名の方々から振替手数料を差し引いて合計872,150円の会費を納入していただきました。これらは、年1回の会報発行や会議の運営など最低限の同窓会事業を維持していくうえで貴重な財源となります。ありがとうございました。まだご協力いただいていない方はよろしくお願ひします。

★昨年、納入者のお名前を会報に同封しましたが、それ以降にご協力いただいた方のお名前を掲載いたします。(50音順・敬称略)

青木美智子	池田 洋子	遠藤 実
大平 朋未	小野 泰孝	川畑 松晴
北鹿渡庸子	桐沢 笑子	窪田 長世
笹原 孝一	瀬戸久美子	中西 昭
西川 貴之	布施まつみ	牧野 弘幸
室 南海枝	山崎 泰子	

★昨年同封した納入者名簿の一部に誤りがありましたことをおわび申し上げます。

# アカンサス42の会 同窓会開催

2013.10.1(火)~2(水)  
湯涌温泉 お宿 やました

「アカンサス42の会」は、昭和42年3月、教育学部中等科卒業生の同窓会です。あの38豪雪で埋まるキャンパスの雪をかき分けて受験し、桜咲く4月に入学した仲間です。

平成18年に国語科の呼びかけで第1回を開催し、以後第2回社会科、第3回数学科、今年の第4回は理科が担当し、金沢在住のものが幹事を務めました。場所は、昨今TVアニメで有名になった「花咲くいろは」の聖地で、金沢の奥座敷の湯涌温泉を選びました。

現在、存命している46名中、男性14名、女性21名が参加しました。まず、学生時代のスナップ写真と42名からの便りを載せた冊子を目にして、心をタイムスリップさせました。

宴会では古希を迎えて過去・現在の話だけでなく、未来を志向する話で盛り上がり、食欲もアルコールも進みました。二次会は全員参加で、カラオケや談笑が弾み、最後は肩を

組み合って「別れのワルツ」を合唱し、旧き良き青春を思い出しました。

2日目は、希望者で近くの「花咲くいろは」の聖地と玉泉湖の散策、「創作の森」で藍染め体験を楽しみました。「竹下夢二館」は残念ながら休館日で、見学は叶いませんでした。

次回は、音楽科・美術科・技術科・家庭科合同で担当することにし、再会を心待ちにして別れを惜しましました。



湯涌温泉での懇親会

## ☆☆☆学友支援室からのお知らせ☆☆☆

平成25(2013)年11月2日(土)、本学角間キャンパスにおいて第7回金沢大学ホームカミングデイを開催しました。歓迎式典には214名、記念懇親交流会には168名の卒業生およびそのご家族等にご出席いただき、大変賑やかな1日になりました。記念講演では「クロネコヤマトの満足創造経営」と題し、ヤマト運輸株式会社代表取締役社長 山内雅喜氏(昭和59年文学部卒)にヤマト運輸の経営理念や社員育成について講演をしていただきました。引き続き金沢大学学友会第3回役員総会も開催され、深山会長の辞任に伴い、後任に山出 保 前金沢市長(昭和29年法文学部卒)が就任されました。

第8回ホームカミングデイは、平成26(2014)年11月1日(土)に開催いたします。この前後日に同期生やサークル仲間のみなさまとの同窓会の開催をご計画いただき、懐かしい母校にぜひお越しください。

### 第8回ホームカミングデイ案内状発送卒業年次一覧

下記の卒業期の皆さまには、大学から案内状をお送りいたします。

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| ■年度末76歳以上 (第9回 昭和36年以前の卒業・修了者) |                         |
| ■卒後50年経過 (第12回 昭和39年卒者)        | ■卒後30年経過 (第32回 昭和59年卒者) |
| ■卒後45年経過 (第17回 昭和44年卒者)        | ■卒後20年経過 (第42回 平成06年卒者) |
| ■卒後40年経過 (第22回 昭和49年卒者)        | ■卒後10年経過 (第52回 平成16年卒者) |

## お願いとご案内

★同期会や研究室の同窓会などの開催予定や開催報告を、同封の返信用はがきで、事務局までご連絡ください。

★同窓会を開催するにあたって、名簿などの情報が必要でしたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】 〒920-1192 金沢市角間町  
金沢大学事務局 学友支援室内  
TEL 076-264-5081  
gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp  
副会長:澤野 等(Tel076-262-5804)

## 編集後記

同窓会会員に教職員の方々も特別会員としてお迎えすることになりました。そこで、会報の巻頭言は元教育学部長の藤則雄先生にお願いしました。藤先生はご存じの通り地学研究の第一人者のみならず、類を見ない3期6年に及ぶ教育学部長として教育学部の存続にも尽力されました。現在、金大に学校教育学類として教員養成課程があるのも、先生のご努力の延長上にあるといっても過言ではないと思います。ますますのご活躍をお祈りします。(澤野 記)